



うのてん報

発行・秋田県天王町役場 TEL (天王) 1. 42. 135
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL (一日市) 38

町のうごき

本籍数	4,078
本籍人口	14,120
世帯数	2,742
住民登録人口	13,083
内 男子	6,473
内 女子	6,615

6月1日現在

六月定例町議会終わる

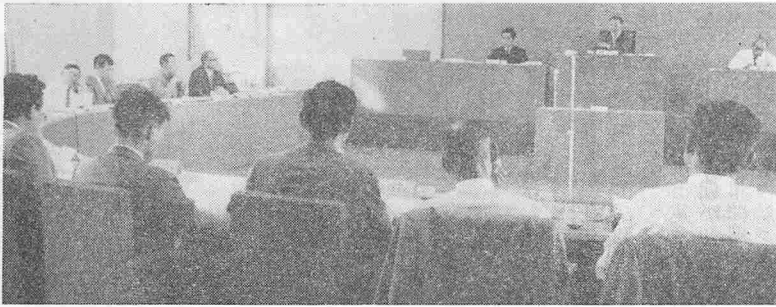
一般会計 451万圓を追加

五案件を原案可決

六月定例町議会は六月二十三日に開会。会期を二十三日、四日の二日間としたあと町長報告、一般質問が行なわれた。続いて上程された六案件を審議。五案件を原案可決、一案件を継続審議にして、同日会期を一日繰り上げて閉会した。

六月定例会で可決された議案は次のとおり

- 一般会計 四十二年度一般補正予算、会計は歳入・歳出にそれぞれ四百五十一万五千円を追加。予算総額は億四千二十八万三千円となつた。おもなものは次のとおり。
- ▽BCG経皮接種ワクチン三十万円。
- ▽ゴミ処理施設の設置補助金(五基)二十五万。
- ▽さいせいビニールハウス設置費補助金(上出戸県単)二十五万。
- ▽BCG経皮接種ワクチン補助金(二田県単)二十五万。
- ▽出戸浜海水浴場便所新設工事費二十五万。
- ▽小型動力ポンプ車購入費(一台)および貯水そう工事費四十五万。
- ▽東湖小学校舎修繕料三十七万九千円、▽天王中水飲み場所新、改築二十五万。



七月の「心配ごと相談室」は三日、十日、十七日、二十四日、三十一日に開かれます。心配ごと、悩みごとのある人は気軽に役場の町民室においで下さい。時間は午前十時から午後三時までです。

町税延滞金は百円一部改正 につきいまままでの日歩二銭から四銭に引き上げられた。また、障害者、未成年者、老令者、か届に対する非課税額はこれまでの二十四万圓から二十六万圓に引き上げられ軽減された。法人税の均等割税率も改正され、資本金または出資金が千万円を越える場合は年額四千円(現行千二百円)それ以外の法人などは千二百円(現行千二百円)となつた。

第二次は八百へ

中央干拓地

農林省は六月十五日付けの官報で、八郎潟中央干拓地の第二次土地配分計画を公告した。今回の予定配分口数はおおむね三百二十口(一口の面積は二・五ヘクタール)で、したがって配分面積は八百ヘクタール。昨年より二百四十ヘクタール多い。

九一八件を取扱う

41年度の「心配ごと相談」

また、全体の三十一・八%に当た

町社会福祉協議会では、このほど心配ごと相談室と民生委員が扱つた四十一年度の心配ごと相談状況をまとめた。

それによると、昨年四月からことし三月までの取り扱つた延件数は九百十八件のほり、一日平均にして約二・五件。相談種別では児童・母子に関する相談が二十三・四パーセントで筆頭。次いで生活苦による相談の二十一・六パーセントとなつている。

この九百十八件を相談経過からみると、相談を受けてただちに解決したのは六・二%と少ないが、継続指導をして解決したものが五十八・五%と合わせると六十五%近くに達している。

心配ごと相談取り扱い状況

(41年度中)

相談経過別	総数	他機関紹介	機介に解決	ただちに解決	継続指導	継続指導中
相談種別	件	件	件	件	件	件
総数	918	292	57	537	32	
児童・母子	215	11	2	200	2	
生活苦	198	126	20	45	7	
健康(医療)	190	52	4	132	2	
職業	127	48	18	58	3	
住居	72	13	2	56	1	
家庭不和	36	5	5	10	16	
老人	21	4	4	12	1	
結婚その他	16	13	1	2	0	
その他	43	20	1	22	0	

この八百ヘクタールのうち東北には六十二・五パーセントに当る五百ヘクタールが配分される見込みで、昨年の二・五パーセント増、一戸当たり十ヘクタールとした場合五十戸が東北へ配分される。

一方、第二次入植希望者は東北で四百七十人。最低でも九・四倍の競争率となつている。このうち本県からは三百二十人が希望。町内では六人が第二次入植を希望し、申し込んでいます。

なお、入植希望者は七月三日までに県へ書類を提出。県は同十四日までに東北農政局へ書類を提出することになつている。筆記試験は八月一日の予定で、面接試験は同二十九日から三十日。申し込み者の年令は明年十一月一日で満二十才から四十五才までとなつている。

二百九十二件は他の適当な機関で紹介。継続指導中のもの三・五%となつている。

心配ごと相談は各民生委員のほか、役場で毎週月曜日に開かれる「心配ごと相談室」で取り扱っています。

ご利用ください。

秋田市と交流会

— 婦 人 会 —

青少年問題を話し合う



町婦人会(渡部ツナ会長)は六月十三日、役場で秋田市連合婦人会(笹村ミヨ会長)と青少年の不良化防止について交流懇談会を開いた。

東南アジアから視察に

本町に七月十五日、東南アジアから一行十五人が結核検診状況視察に来る。

本町を視察することになったのは、毎年結核検診でよい成績をおさめていることや、全国でもあまり例のない健康生活推進委を組織して、住民自ら保健衛生の改善、向上にのりだしていることなどに注目しているもので、当日は大崎部落で結核検診状況を視察したのち、役場で関係者と結核予防をはじめ、保健衛生の諸問題について話し合うことになっている。

二時間半にわたって話し合いを行なった。

町婦人会が秋田市連合婦人会と交流するのは今回が初めてだが、テーマが青少年問題だけに意見も活発なものだった。この交流会では、どうしたら青少年の不良化を防止できるか、また、そのために母親はどういう役割りを果たしてゆかなければ

- ▲上旬イモチ病の防除、本田水管理、除草剤の使用。
- ▲中旬イモチ病の防除、穂肥
- ▼下旬イモチ、モンガ、ウンカの防除。

【中干し】中干しは最高分けつ期に行なう。出穂前三十〜四十日(早生穂の場合六月二十五日〜七月五日)が適当。その後は幼穂形成期にはいのである。中干しはできない。中干しのやり方は、一回の落水期間を三〜七日間とし、踏むと軽く足跡がつく程度にする。これによって通気がよくなり、下部の節間の徒長を防止し、カリの

ならないかを中心に意見を交わしたが、とくに、本町の高校生は大多数が秋田市へ通学しているため、相互間で通学生徒の実態は握り今後の協力体制について話し合ったことは大きな意義があった。なお、町婦人会は今月下旬から来月初めにかけて、秋田市の飯島婦人会とも交流会を行なう予定である。

「明るく正しい選挙の」ポスターを募集

自治省、文部省、都道府県選管、区市町村選管などの主催で「明るく正しい選挙宣伝ポスター」の作品を募集しています。明るく正しい選挙をおすすめるうえに役立つポスターをたくさんお寄せください。

- △応募規定▽
- (1)内容「明るく正しい選挙をおすすめる」ことを表わしたものである。
- (2)応募資格「小学生、中学生、高校生(一人一点自作のものに限る)。
- (3)締め切り日「四十二年九月五日(火)。
- (4)提出先「天王町選挙管理委員会」

自治省、文部省、都道府県選管、区市町村選管などの主催で「明るく正しい選挙宣伝ポスター」の作品を募集しています。明るく正しい選挙をおすすめるうえに役立つポスターをたくさんお寄せください。

- △審査▽
- ▽第一次「町選管」、▽第二次「県選管」、第三次「中央審査会」
- (1)文部大臣、自治大臣連名の賞状と連合会長より副賞がさな。
- (2)早植田、密植田、秋落田、または計画的に穂肥を施すべき田んぼでも肥料切れが判然としてから施すこと。
- (3)施す量が多すぎて、稲に過剰な窒素が残ることのないよう注意する。
- (4)施す量は窒素成分で一・五キログラム(硫あん七・五キログラム)を越えないこと。

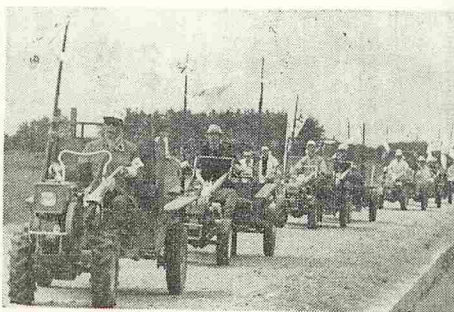
第16回 商工会珠算検定合格者

- 【三級】▽天王中「工藤ナナ子、安田テミ子、伊藤栄子、伊田仁、鎌田和香子、貝田仁。
- 【四級】▽天王中「伊藤秀子、越後孝子▽追分小「安田菊雄、鶴谷左絵子、佐々木次子。

- 【五級】▽天王中「齋藤ヒサ子、小柳園子▽追分小「藤原洋子、中川正仁▽出戸小「出口正樹。
- 【六級】▽追分小「伊藤易子、▽出戸小「寺沢一彦、海野久美子、加賀谷哲子、菊地詩子。
- ▽東湖小「柏崎万記子、▽大崎「三浦悦子、三浦篤子、吉田孝子。
- 【七級】▽出戸小「藤原敏弘、一等一名、二等二名、三等三名(小、中、高各)に贈られます。
- (2)その他佳作各若干名に賞状と記念品。そのほか第二次審査通過者には県から賞状と賞品、出品者全員に記念品が贈られます。

要求米価貫徹パレード

町農協米对本部(本部長「佐々木幸藏農協組合長)は六月十九日、耕うん機十四台、バイク四十台、自動車十台が参加して「要求米価貫徹パレード」を行



性病のない町に
性病予防法が改正され国の性病に対する強化対策が示されたが、秋田県でも青年層が増加の傾向をみせている。顕性梅毒対策、出かせぎ者にによる性病搬入の防止、さらに、これとあわせて「不幸な子どもを生まない運動」を押し進めています。今度この事業の一環として婚姻時(予定者を含む)、妊娠時の血液検査を無料で実施します。

特別弔慰金の請求を
戦没者の遺族の方で以前に五万円(特別弔慰金)の請求はお済みでしょうか。請求期限が迫りました。まだ請求していない方は至急役場の民生係までお問い合わせください。

七月にはいると急に海が恋しくなってくるが、本格的な海水浴シーズンを迎えて「出戸浜海水浴場」では、いまその準備に大わらわ。八日の「浜開き」を目前にして日増しに活気づいている。

出戸浜は招く



八日に「浜開き」

收容能力二万人以上
出戸浜海水浴場のことしの浜開きは、昨年より二日早い七月八日の土曜日。海上安全祈願祭で幕をあけ、八月末まで二ヶ月

近くにおたつて文字どおり「カッパ天国」となる。海の家はことし新たに三軒ふえて二十二軒となり、組合側では一度に二万人以上来てても大じようぶと收容能力を誇る。中には個室やタイル張りのフロを備えたデラツクスな海の家もあり新名物となりそう。

家族づれに最適

昭和二十六年に海水浴場を開設してから、出戸浜はことしで十七年目の夏を迎えるが、海は遠浅でけしきがよく、また海水がきれいなため、いまでは県内一との定評がある。さらに交通が便利なことや秋田から車で三十分で来れるというようなこと

▲人、人、人でいっぱい
出戸浜 (昨年写真)

期間中の行事

- ◆七月
 - 8日 浜開き、海上安全祈願祭
 - 16日 闘犬会
 - 23日 海陸リレー大会
 - 30日 宝さがし
- ◆八月
 - 6日 貝拾い大会
 - 16日 宝さがし
 - 20日 黒んぼ大会
 - 27日 すいか祭

自衛官募集

常時受付 毎月入隊

自衛官を募集しています。日本の平和を守る自衛官。規律正しい生活、学習、訓練、スポーツですぐれた社会人として成長します。

身分・待遇 特別職の国家公務員で二主初任給は月一万五千円のほか、各種手当、賞与年三回、退職金もあります。
福利・厚生 衣、食、住は無料。健康管理には万全を期し、スポーツ、趣味、娯楽、隊外クラブ、売店など厚生施設にはとくに力を入れています。
特典・進路 各種専門技術の免

許をとる機会も豊富です。また通学や通信教育を受けることもできます。永年勤務や幹部自衛官に昇進の道もあります。
応募・資格 十八歳から二十歳未満の男子となつています。受け付けは常時しており、毎月入隊できます。その他くわしいことは役場の総務課が自衛隊秋田地方連絡部にお問い合わせください。

も手伝つて、訪れる客は毎年三〇四万人ふえ、家族づれの多いのが目立つ。とくに、岩手、山形方面からの県外客や、男鹿半島への行き帰りに立ち寄る客の多いのが最近の特徴だ。
一方、車で来る人も年々多くなり、昨年は日に千五百台を上回った日も何度かあった。そこでことしもまた駐車場を拡張、マイカー族の受け入れにも余念がない。
昨年は期間中雨天の日が多かつたが、それでも三十五万人近くが出戸浜へ来ており、天候を気にしながらも「ことしは四十万人はカタい」と組合員のハナイキは強い。

トマトいまが最盛期

◎ことしはよいできばえ◎



下出戸、上出戸、細谷、二田のビニールハウスでは、いまトマトの最盛期。日増しに強くなる夏の陽をうけて急ピツチで色づいている。
トマトは早いところで五日二十五日ごろから収穫が始まつたが、一時は一キロ当たり百七十円もの高値で出荷。その後千葉や山梨ものがどつと出回つて四十円まで下がり、現在は七、八十円で秋田市へ出荷されている。ことしはあまり病氣もつか

▶ トマトはいまが最盛期
ず一つ一つを箱詰りする農家の人たちも、一月から続いできた農作業の努力がむくわれた感じだが、それにもまして、米より一足先に現金のはいるところが魅力。一回のモギ取りで一棟百四十八平方メートルのビニールハウスから百二十キログラム前後が収穫され、四月二十日過ぎから収穫が始つているキウリと合わせて出荷また出荷の毎日が続いている。

家庭バレー

ボール大会 16日に

第八回目的「家庭バレーボール大会」が七月十六日午前九時から天王中体育館で行なわれます。たくさん参加して、七月の「家庭の日」を楽しくお過ごしください。
△参加要項▽
▽チーム編成▽主婦チーム(学生、未婚者を除く)、男女混合チームの二チームとする
一チーム選手八人で補欠は主婦チーム二人、男女混合チーム三人。
▽年齢区別▽【主婦チーム】二十〜二十九歳の人三人以下、

三十歳以上の五人以上、補欠は三十歳以上の二人。
【男女混合チーム】女性二十歳以上の人三人以上、男性二十〜二十九歳の人二人以下、三十歳以上の三人以上、補欠は男性三十歳以上の二人、女性は二十歳以上の一人。
▽参加資格▽天王町に居住している人。ただし、職場でチームを編成している人も可。
勤務している人も可。
▽申し込み、七月十日までに町公民館(役場内)へ。



出戸地区で体育大会

下出戸、上出戸、出戸開拓、細谷など出戸小区域内の住民は六月二十四日、出戸小のグラウンドで部落民総参加の第一回「出戸地区体育大会」を開催。楽しい土曜日を過ごした。
分館、PTAが主催となつて健康なかなだをつくりの地域住民の人間関係を深める、というような意味合いから行なつたもので、千人を超える住民が参加。子どもから年寄りまで男女入りまじつて白熱のゲームをくりひろげた。

